

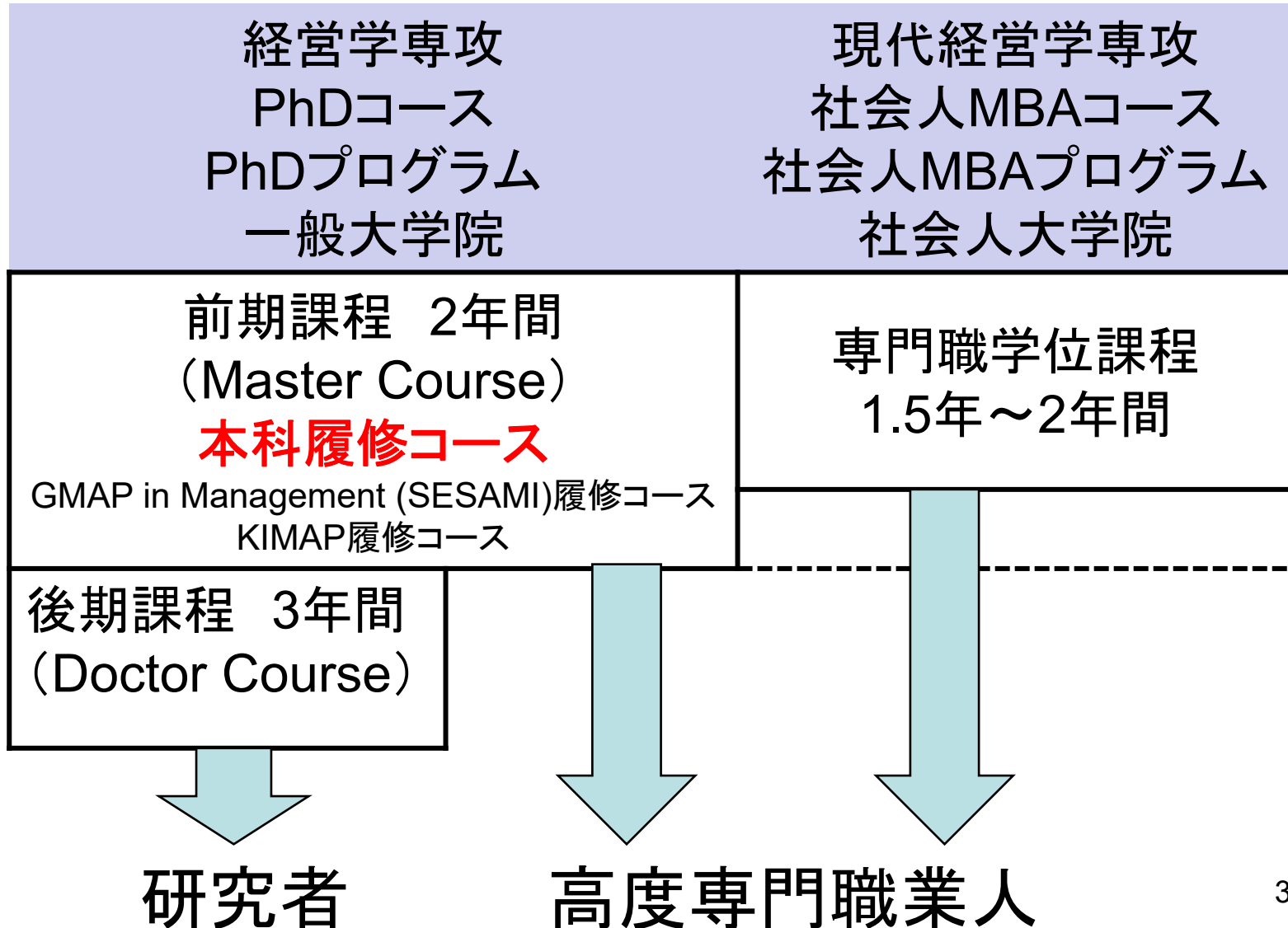
神戸大学大学院経営学研究科
Ph.D. コースガイダンス
(前期課程・後期課程)

2024年4月
副研究科長・大学院教務委員
三古 展弘

学生便覧

- 博士**前期**課程(マスター)入学者は**2024年度版**
- 博士**後期**課程(ドクター)入進学者は**2022年度版**
 - 本資料内でページ数を記載(ただし, 参照する年度に注意)
 - 2021年度からウェブページ版のみで印刷版はありません
 - <https://b.kobe-u.ac.jp/handbooks/>
 - 学生と大学の契約書
 - 本資料と学生便覧の内容に齟齬があった場合は学生便覧の内容を優先

経営学研究科の構成



本科コースと特別プログラムコース

- 本科履修コース
 - 皆さんの入学したコース(これから説明)
- KIMAP in Management履修コース(2023年10月～)
 - 2023年9月まではGMAP in Management (SESAMI)プログラム履修コース
 - 海外提携大学研究者との共同で、すべて英語で講義がなされる一般とは別体系のコース
 - 本科履修コースの人も履修可(許可必要)
(『2024年度便覧』220頁～／『2022年度便覧』210頁～
およびコースホームページ, 掲示等を参照)

博士への道

	講義	総合学力試験	博士候補者資格論文	修士論文	博士論文
M1	第1群～第8群 計30単位以上 (修士も共通)	M2の8月までに 第1群1科目 第2群1科目			
M2				10月論題提出 1月提出 2月審査・試験 (↑修士も共通) 進学可の判定	
D1	4～12月 論文作成セミナー 演習	D3の8月 までに 第1群2科目 第2群1科目			
D2	4～12月 博士候補者ワー クショップ 演習		10・4月論題 1・6月提出 2・7月審査		
D3	演習		D3の6月 提出まで 可能		10月論題提出 12月発表会・仮 審査 1月提出 2月審査・試験

Ph.D.コースの教育目標

- 広義の経営学（経営学（狭義）・会計学・商学）の全般ならびに関連する基礎的な学問分野の理論について**高度な専門知識**をもち、
- 経営学のある特定分野においてさらに**深い専門知識**に精通し、
- 当該分野において**独創的な研究**をおこなうことができる科学的方法論を修得した人材

（『2024年度便覧』 8頁

『2022年度便覧』 8頁）

前期課程の教育体系

講義科目

(コースワーク)

- 第1群(4単位以上)
- 第2群(2単位以上)
- 第3群(2単位以上)
- 合計18単位以上
(第5群, 第8群を含める)

指導教員の承認を得ること

演習

(ゼミ)

- 第6群(12単位)
- 研究指導教員の指導のもとで修士論文を執筆

(『2024年度便覧』206頁)

第1群：特論科目

- 4単位以上
 - 経営学研究に必要な各分野の専門的な基礎知識について講義することをねらいとして、毎年開講されている授業科目
- 経営学分野
 - 経営管理特論，経営制度特論，決定分析特論
- 会計学分野
 - 財務会計特論，会計制度特論，管理会計特論
- 商学分野
 - マーケティング特論，ファイナンス特論
 - 市場経済分析特論

第2群：方法論科目

- 2単位以上
 - 経営学研究に必要となる数学的・統計的・定性的な分析手法について講義することをねらいとして、毎年開講されている授業科目
- 数学的方法論研究
- 統計的方法論研究
- 定性的方法論研究

第3群：特殊研究科目

- 2単位以上

- 第1群, 第2群科目が講義する基礎的知識を補完
 - 第1群, 第2群科目の内容に直接関わり, それを補助・補足, 研究に必要な基礎的知識を教える
 - 専門分野ごとの先端的研究や個別的研究を教える発展的内容
- 修士論文の方向性を考えながら履修

なお, KIMAP in Management (SESAMI)履修コースの科目を取得した場合は, 第3群としてカウント

履修細則別表A注1
(『2024年度便覧』206頁)

第5群：学部科目

- 他分野からの入学者等経営学の知識が不足していると思われる場合に、学部開講科目を大学院の科目として履修できる
- **受講には指導教員及び授業担当教員の許可が必要**
- 修了に必要な単位に組み込まれるのは4単位まで、かつ、第8群科目と合わせて6単位まで

履修細則別表A注1
(『2024年度便覧』206頁)

第8群：専門職科目

- ビジネスの現場に直結した実践的知識の応用科目。専門職(MBA)学位課程向けに開講
 - ケースプロジェクト研究, テーマプロジェクト研究および現代経営学演習を除いて6単位を上限として第3群科目の単位数に含める
 - 履修細則別表A注2(『2024年度便覧』206頁)
 - 修了に必要な単位に組み込まれるのは, 第5群科目と合わせて6単位まで
 - 履修細則別表A注5(『2024年度便覧』206頁)

履修プランの作成

- 『履修要綱』の「大学院博士課程の基礎的科目の体系と履修計画について」(8～20頁)を熟読すること
 - 履修要綱(大学院生用): 経営学研究科ウェブページに掲載
 - https://www.b.kobe-u.ac.jp/phd_files/risyuyoukou_md_2024.pdf
- 履修にあたっては研究指導教員とよく相談

演習(ゼミ)

- 1人の研究指導教員を選び, その教員の研究室に所属する
- 研究室(研究指導教員)単位で演習(ゼミ)が開講され, そこで論文(修士論文, 博士候補者資格論文および博士論文)指導が行われる
- 演習(ゼミ)は, 通常その研究室に所属する大学院生の全メンバーが参加

修士論文の執筆

- 論文題目の提出 (M2の10月)
- 修士論文の提出 (1月)
- 修士論文審査 (主査1名, 副査2名) (2月)
- 指導教員と密にコンタクトを取り, 指導を受けること
 - 論文は通常のレポートとは全く違う
 - オリジナリティや学術的貢献が必要
 - 数週間や1~2か月でできるようなものではない
 - 毎日研究するのが普通
- 2年で提出できなかった場合
 - 次の年の6月に提出し, 合格後9月に修了することが可

修士論文の評価基準

1. 新しい経営学的知見を提供していること。
2. 論旨が明確かつ一貫し，構成の体系性が確保されていること。
3. 資料および先行研究の取扱いが適切であること。
4. 表現・表記法が適切であること。

前期課程修了・修士号

講義科目

(コースワーク)

- 第1群(4単位以上)
- 第2群(2単位以上)
- 第3群(2単位以上)
- 合計18単位以上
(第5群, 第8群を含める)

指導教員の承認を得ること

(『2024年度便覧』206頁)
18条の2, 18条の3も参照
(『2024年度便覧』192頁)

演習

(ゼミ)

- 第6群(12単位)
- 研究指導教員の指導のもとで修士論文を執筆
- **修士論文の合格**
 - 論文審査+最終試験(口頭試問)

研究科規則25条(『2024年度便覧』193頁)
履修細則3条(『2024年度便覧』204頁)

博士への道

	講義	総合学力試験	博士候補者資格論文	修士論文	博士論文
M1	第1群～第8群 計30単位以上 (修士も共通)	M2の8月までに 第1群1科目 第2群1科目			
M2				10月論題提出 1月提出 2月審査・試験 (↑修士も共通) 進学可の判定	
D1	4～12月 論文作成セミナー 演習	D3の8月 までに 第1群2科目 第2群1科目			
D2	4～12月 博士候補者ワー クショップ 演習		10・4月論題 1・6月提出 2・7月審査		
D3	演習		D3の6月 提出まで 可能		10月論題提出 12月発表会・仮 審査 1月提出 2月審査・試験

博士課程後期課程への進学

条件1: 前期課程修了

条件2: 修士論文の「後期進学合格」

- ・修士論文審査時に判定

[基準]前期課程修了者が身につけているべき研究能力の水準を示しているだけでなく、博士号取得者となりうる能力を示すこと

条件3: 総合学力試験合格

- ・第1群1科目, 第2群1科目合格

[基準]科目の内容を理解しているだけでなく、経営学研究者としてそれを使いこなす能力となっていること

総合学力試験

- 後期課程**進学**，博士論文**提出**のための十分な学力を有するかの判定のための試験
- 試験科目：第1群科目，第2群科目と同じ
- 年2回実施（8/9月と2/3月）
- 後期課程**進学要件**（1群科目1科目，2群科目1科目，以上をM2の8月の試験までに合格）
- 博士論文**提出要件**（1群科目2科目、2群科目1科目，博士候補者資格論文をD3の8月の試験までに合格）
- 有効期限は10年

後期課程の教育体系

- 授業(第4群) **必修**
 - D1またはD2を想定: 論文作成セミナー(1単位)
 - D2またはD3を想定: 博士候補者ワークショップ(1単位)
- 演習 **必修**
 - 研究指導教員が実施する演習(ゼミ)(8単位)
- その他
 - 希望者は講義科目を聴講, 単位修得することができる

履修・聴講いずれも研究指導教員の承認を得ること

博士課程修了・博士号

- 博士候補者資格論文試験(旧「第2論文」)
 - 博士論文に向けての研究の経過を見る研究能力の審査
 - 査読付論文で代替可能

↓

- 論文指導委員会(指導教員＋教員2名)を編成

↓

- 博士論文試験
 - 題目申請
 - 3名の審査委員による仮審査
 - 3名の審査委員による論文審査＋最終試験(口頭試問)
 - [前提] 演習履修＋総合学力試験の第1群2科目, 第2群1科目の合格＋博士候補者資格論文合格

博士候補者資格論文の代替

- 査読付論文の提出要件
 - 研究指導教員の承認
 - 査読雑誌に掲載されたか掲載が決定していること
 - 博士論文の専門分野に該当すること
 - 共著の場合は、主たる著者であることを他の共著者から認められていること
- 申請手続
 - 研究指導教員の許可を得た所定の申請書に必要書類を添付して提出すること(博士候補者資格論文の題目提出は不要)
 - 申請書については別途通知する
 - 申請提出時期は、博士候補者資格論文の提出と同一

論文作成セミナー(必修)
博士候補者ワークショップ(必修)

- 6月15日, 22日, 10月26日, 11月2日(いずれも土曜日)
- 同じ時間帯に行われるが, 聴講側と報告側で別の単位として認定.

論文作成セミナー

成績評価: 博士候補者ワークショップで必要数(昨年度は6本)以上の報告に出席し, 指定数(昨年度は2本)の報告に関するレポートを提出

博士候補者ワークショップ

博士候補者資格論文合格者は原則として, 直近の博士候補者ワークショップで報告

成績評価: 報告が必須, 良い博士論文につなげるために様々な教員や院生からの意見を聴く機会

その他の研究を学ぶ場

- 他の教員の助言
 - 論文指導委員会(博士候補者資格論文試験合格後)
 - 指導教員以外のゼミに参加(指導教員に相談)
 - 博士候補者ワークショップ
- 研究会・学会
 - 他の研究者がどのように研究成果を出したかを学ぶ
 - 各専門分野の学会(加入については指導教員と相談を)
- 論文投稿の査読コメント
 - 匿名の査読者による忌憚ないコメント
 - 指導教員やほかの人のコメントは, 査読者からも来るかもしれない
- 博士論文発表会
 - 他の院生がどのように研究成果を出したかを学ぶ

博士論文の評価基準

1. 経営学に関する学術上の貢献が認められること。
2. 独創性あるいは創造性が認められること。
3. 論旨が明確かつ一貫し、構成の体系性が学術的に高い水準で確保されていること。
4. 資料および先行研究の取扱いが学術的に高い水準で適切であること。
5. 表現・表記法が適切であること。

(『2024年度便覧』218頁)

(『2022年度便覧』208頁)

研究倫理を遵守すること(1)

- 大学院生は「研究者」
- 「研究者」は「研究不正行為」を行ってはいけません
 - 剽窃, 捏造, 改ざん, 盗用など
- 授業や学位論文において研究不正行為が行われれば(指導教員にはすぐ分かります), 単位取り消しや学位取消等の重い処分
- 海賊版のソフトウェアの使用禁止

参考) <https://www.kobe-u.ac.jp/research/system/academic-norms/index.html>

研究倫理を遵守すること(2)

- 経営学研究科「レポート・論文作成時における剽窃防止ガイドライン」を熟読のこと
 - インターネットや情報技術の発展が悪質な不正行為を生み出している側面があります
 - 学位論文(博士論文, 修士論文, 卒業論文), 定期試験・到達度確認, レポート等における盗用等
 - https://b.kobe-u.ac.jp/phd_files/prevention_guideline2.pdf
 - 本研究科・学部でも学生が重い処分を受けた例

研究倫理を遵守すること(3)

- 2022年度より, 神戸大学のすべての大学院生は, 専攻分野の特性に応じて, 研究者倫理に関する知識及び技術を身に付けていただく必要があるため, eラーニングによる研究倫理教育を受講することを義務付け
- 準備ができましたら受講に関する通知をしますので必ず受講すること

【参考: 神戸大学における研究倫理教育について】

https://www.kobe-u.ac.jp/research/system/academic-norms/research_ethics_education.html

対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム (Business Value Co-Creation Program)

- **BVCC**プログラムが本年度よりスタートします
- 修士修了後に社会に出て活躍をする人（高度経営人材）のためのプログラムです
- プログラムに登録した学生は**下記の要件**を満たすことで、BVCCプログラム修了とみなし修士課程修了時に修了証を授与されます
 - プログラム指定科目から**10単位以上修得**
 - プログラムの**3つの科目各群から1単位以上修得**
- プログラムの登録は後期開始時ですが、いくつかのプログラム科目は前期から開講されますので、履修科目を選ぶ際に考慮に入れてください。

対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム (Business Value Co-Creation Program)

- 多様でさまざまな人々と協力して、新たなビジネスの価値を創出できる人材を養成するプログラム
- このプログラムを通じて養成する学生の将来像
 - 地域社会などで新たなビジネスを始める起業家
 - 自治体やNPOなどで地域課題をさまざまな人々と解決する人材
 - 企業の中で新たな価値に基づいて、新たなビジネスをマネジメントする人材
 - など**利益だけでない多様な価値を目指す21世紀型ビジネスを担う人材**
- このプログラムの特徴
 - 実務に携わっている人からリアルな話が聞ける講義
 - 実際にプロジェクトなどを通じて実践できる演習
 - インターンなど企業現場での活動もサポート（単位化・インターン情報提供）

2024年度開講科目スケジュール



早速始まります！！

	1Q	2Q	3Q	4Q
価値創発科目群	経営学特殊研究 (対話型価値共創)	現代経営学応用研究 (エフェクチュエーション)	現代経営学応用研究 (アントレプレナーシップ)	経営倫理
	対話型価値共創		現代経営学応用研究 (ビジネス・プランニング)	
	現代経営学応用研究 (アントレプレナー・ファイナンス)	経営学特殊研究 (ビジネスにおけるリベラルアーツ)	経営データ分析特殊研究 (M&Aデータ分析演習)	
	アントレプレナーシップI (エシカル・アントレプレナーシップ)		特別講義II (ソーシャルビジネスと事業創造)	
	アントレプレナーシップII (アントレプレナー・ファイナンス)		統合科目III (グローバルマネジメント)	
	ビジネスシミュレーション		統合科目IV (戦略的CSR)	
社会実装科目群	経営管理特殊研究 (イノベーション・マネジメント)	経営管理特殊研究 (リーダーシップ)	人的資本経営特殊研究 ●インソース	
	現代経営学応用研究 (ファミリービジネス) ●三菱UFJ銀行		経営データ分析特殊研究 (データ社会と経営)	
			経営管理特殊研究 (対話型価値共創と組織づくり)	
			現代経営学応用研究 (M&A戦略) ●日本M&Aセンター	経営学特殊研究 (地域課題と経営) ●神戸市
		観光地域研究A	Tourism and Culture Research A (M)	
			観光経営研究A	
			特殊講義I (問題解決能力の開発)	

プログラムの最新詳細情報は、ホームページ、パンフレットで

<https://b.kobe-u.ac.jp/bvcc/>



神戸大学 | 小樽商科大学 | 和歌山大学
**BUSINESS VALUE
 CO-CREATION
 EDUCATION PROGRAM**
 { 対話型ビジネス価値共創
 人材養成プログラム }

HOME (ホーム)
 NEWS (ニュース)
 EVENT (イベント)
 ABOUT (BVCCプログラムについて)
 CLASS (授業一覧)
 COLLABORATIVE RESEARCH (共同研究)

企業・自治体の方へ
 お問い合わせ
 登録・履修について

対話型
 ビジネス
 価値共創

神戸大学 | 小樽商科大学 | 和歌山大学
**対話型ビジネス価値共創
 人材養成プログラム**

BVCCプログラムについて
 地域/社会課題を、
 「創造的対話」と「ビジネスの視点」で捉え、
 「価値創発」と「社会実装」のプロセスを
 実践するプログラムです。

BVCCプログラムの概要をみる



BVCCプログラム
 Business Value Co-Creation Education Program

地域 / 社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム

3大学の授業で
 学修型

実践性・
 経験による
 実践的な
 講義

地域/社会課題
 解決を目指す
 プロジェクト型
 の演習

インターンシップ
 実施可能

2024年度スタート！新しい時代を担う人材育成プログラム
 本プログラムは、創造的対話を用いて、様々な利害関係者と協力して地域や社会
 における課題を解決できる対話型ビジネス価値共創人材の養成を目的として開設
 されます。課題解決のためのアイデアや、論議の過程から社会実装までを対象と
 した一貫教育プログラムを構築し、実際の地域/社会の課題を見出し、それをビジネ
 スの視点から解決できる人材の養成を目指します。

神戸大学 | 小樽商科大学 | 和歌山大学
 文部科学省令和5年度人文・社会科学系 連携型大学国際化推進事業

神戸大学経営学研究科

経営データ科学教育プログラム

Kobe University Business Data Science Program

試行科目について

2024年4月3日

経営学研究科新生オリエンテーション



後ほど、内田教授より説明

研究資金の獲得

研究には,

- 書籍・PC
- 調査
- 学会発表旅費・参加費(海外, 国内)
- 英文校正・論文掲載料

等のために資金が必要

→ 競争的研究資金に応募して, 研究する

後期課程進学者に対する研究支援

- 日本学術振興会特別研究員
- 神戸大学博士フェローシップ制度
- 日本学生支援機構の奨学金の返還免除内定制度
 - 博士後期課程入学時に、貸与終了時に決定する業績優秀者の返還免除を内定する制度
- その他(適宜情報提供します)
- 参考:ガイダンス後の院生協議会からの説明

日本学術振興会特別研究員

「特別研究員」制度は優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者及び博士の学位取得者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、支援する制度です。

参考) 月額20万円＋研究費

参考) https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_gaiyo.html

神戸大学博士学生フェローシップ制度

同事業では、研究に対する意欲を有し、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出の重要な担い手となる博士後期課程進学者に対し、研究専念支援金と研究費からなるフェローシップの支給と、博士後期課程修了後に安定的で研究に専念できる環境を提供できるポスト確保に取り組む大学に対し、補助金が支援されます。

[支援内容]研究専念支援金180万円/年，研究費30万円/年，授業料全額免除
参考) http://www.career.kobe-u.ac.jp/employment_support_program/fellow.html

大学教員になるには

- 公募形式が主流になりつつある
 - 1つのポジションに全国の博士号取得者が応募
 - 競争するときの武器は研究業績(学術論文, 学会発表等)
 - 査読論文掲載実績のある競争相手もいる(博士の学位取得の要件にしている大学もある)
- 教育歴を重視する大学も増加
 - TA (teaching assistant), STA (senior teaching assistant), RA (research assistant)も実績になる
- 自分の研究を端的にわかりやすく伝える訓練
- ハゲタカジャーナルやハゲタカ学会には注意。

履修登録等事務手続について

教務グループ

履修, 試験, 学位等の教務手続を行う重要な係

- 手続忘れ, 期限遅れがないように
- 分からないことは聞くこと
 - その前に学生便覧、履修要綱は熟読を
- 常に連絡先を最新にしておくこと

教務上の連絡の方法

基本＝電子媒体での通知

経営学研究科ウェブページ・メールをよく見ること

[重要]＝学籍番号メール

(XXXbXXXb@stu.kobe-u.ac.jp)

→必ず常用メールへの転送設定をすること

補助＝公用掲示板(第3学舎通路)

使用例: 周知ポスターの掲示等

教務上の申請の方法

[1] 教務グループで直接申請(メール等)

[2] インターネット申請

- 履修登録(登録方法は「教務情報システム利用の手引き(学生用)」を参照)
- 総合学力試験(登録方法は別途通知)
- 修士論文題目, 博士候補者資格論文題目, 博士論文題目(登録方法は別途通知)
- 修士論文, 博士候補者資格論文, 博士論文の提出(登録方法は別途通知)
 - 履修登録以外は大学院メンバーサイトという独自のウェブページから行います

[重要]必ず, 指導教員の指導・承認を得て登録すること

教務関連システム

[1] うりぼーネット

- 教務システム
- 授業履修, 履修の取り消しの手続き, 成績の確認
- <https://kym22-web.ofc.kobe-u.ac.jp/campusweb>

[2] BEEF+

- 学修支援システム
- 授業資料のダウンロード, レポートの提出, 授業の質疑応答, など授業の実施に関わるリソースの集約
- <https://beefplus.center.kobe-u.ac.jp/>

[3] 経営学研究科メンバーサイト

- 総合学力試験, 論題の申請, 論文提出
- <https://b.kobe-u.ac.jp/member/>

指導教員の申請・決定

- ステップ1: 説明会出席
 - 希望する指導教員のゼミ・ゼミ説明会出席
 - 分からないことを, 教員に直接確認する
 - 4月5日(金)から12日(金)
- ステップ2: 希望申請書提出
 - 指導教員の希望申請書を教務グループに提出
 - 第1希望から第5希望(後期課程は第3希望)まで書くこと(調整有り)
 - 申請期間: 4月5日(金)~4月15日(月)17時
- ステップ3: 結果の通知
 - 4月下旬に決定し次第, 結果を通知

前期の履修登録

- 通常履修登録

- 登録方法:「**うりぼーネット**」
- 登録期間:**4月1日(月)10時**～**4月19日(金)17時**(時間厳守)

- 事前登録による履修登録

- 対象科目と方法:第1群, 第2群, 第3群以外の科目は, 授業担当教員の許可を受け, 教務グループに申請
- 申請期間:**4月1日(月)10時**～**4月19日(金)17時**(履修登録と同じ)
- ※KIMAP in Management授業科目の履修については, 別途通知

履修取消し

- 履修登録後，途中で履修を中止したい場合
- 履修取消方法：「うりぼーネット」
- 履修取消期間：[前期]4月22日（月）～4月28日（日）
- 取り消した科目は、その学期中に再履修できない（『履修要綱』3頁）

大学院での学び方の参考資料等

- 規則と手続き
 - 『2024年度学生便覧』 30-91頁, 186-248頁
 - 『2022年度学生便覧』 31-86頁, 179-241頁
- PhDコースの設計, 学び方(規則, 手続の意図も分かる)
 - 『2024年度学生便覧』 250-271頁
 - 『2022年度学生便覧』 243-265頁
- 科目の内容と履修計画の立て方
 - 『履修要綱』(特に, 履修計画の立て方は8-20頁)
- 研究指導教員とよく相談すること
- 『経営学の歩き方』(神戸大学経済経営学会)⁴⁸

- 後期課程の履修の考え方を述べましたが、あなたが経営学研究科博士課程後期課程の教育をあなたのその後の研究者生活で十分に活かすことができるようになるには、それと並んで重要なことがあります。それは、あなたが研究者として生きることには喜びを感じるかどうかということです。その喜びは、経営学上の発見をすることからもたらされるものです。研究に喜びを見いだせなければ、教育を通じて研究能力を身につけたとしても、その能力をあなたの人生において十分には発揮できないでしょう。したがって、経営学研究科の5年間の生活を通じて、研究することの喜びを見だし、確認することが、教育を受け、能力を身につけることと同様に重要です。

(『2024年度便覧』263頁)

(『2022年度便覧』257頁) 49